

# 株式会社富士通ゼネラル

<https://www.fujitsu-general.com/jp/environment/business/biodiversity/index.html>



## 《将来に向けた取組方針》

富士通ゼネラルグループは、「事業活動が生物多様性からの恵みを受け、また影響を与えている」との認識のもと、生物多様性の保全と持続可能な利用に努めます。

そのために、事業活動のすべてのステージにおいて生物多様性へ与える影響を分析・評価し、製品・サービスのライフサイクル全体における生物多様性への影響を低減することにより、生物多様性の保全と持続可能な利用に努めるとともに、当社グループのもつテクノロジー、自らの事業活動での実践による生物多様性への取り組みノウハウ、また社会貢献活動を通して、お客様や社会全体の生物多様性の保全と持続可能な利用に貢献します。

## 〈具体的取組み事例〉

### ビオトープによる生態系ネットワークの構築

浜松事業所では、2012年度に敷地内の緑地にビオトープを開設し、整備を行っています。ビオトープ内では、静岡県版レッドデータブックで絶滅危惧IA類（注1）に指定されている希少な生物であるヤリタナゴ、マツカサガイの保全を行っており、現在自然繁殖が確認されています。その他にもミナミメダカ（静岡県RDB準絶滅危惧）やシロバナサクラタデ、ヒガンバナなど多くの動植物が生息・生育しています。

また増えすぎた植物の間引や外来種の除去を行い、事業所周辺に生息する在来種を呼び込むことのできる環境を整備しています。今後も整備を続けながら、事業所周辺との生態系ネットワークの構築と希少生物の生息域外保全の実現に貢献していきます。



浜松事業所のビオトープの様子

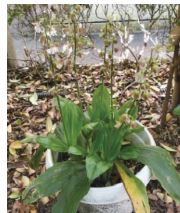
注1：ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。

### 希少植物の保護活動

川崎本社では、地域の希少植物の保護・育成による生物多様性保全に取り組んでいます。川崎市高津区が主催する「エコシティたかつ」推進事業と協働し、川崎市内の森より、盗掘の危険のある希少植物であるラン科植物のエビネを退避させ、川崎本社構内で専門家の助言のもと保護・栽培を行っています。今後エビネの増殖が確認でき次第、エビネが生息する森へ再び戻すことで、地域社会への貢献へ繋げていきます。



専門家指導の様子



川崎本社内で保護・栽培しているエビネ